

令和2年度第2回目黒区環境審議会における主な意見・要望について

意見・要望

ア 【令和2年度エコ・チャレンジ顕彰の被顕彰者について】

- ・めぐろはんどめいどエコバッグのデザイン等がどんどん良くなっていると聞いた。区職員に再度呼びかけをし、SDGsの意識見える化を要望する。
- ・落書きが多い中、環境美化のためにアート作品の制作は素晴らしいと思う。
- ・顕彰式の日程は調整中とのことであるが、例年通りではなくても、なんとか対面の式ができることを願う。
- ・「エコ・チャレンジ顕彰」自体があまり知られていないことが残念である。
- ・とても良い取組である。クリーンで住みやすい目黒区になるためにも、大々的にやるべきである。
- ・現在の選定基準の所属の推薦だけではなく、対象の裾野を拡大した募集にはいかかがか。
- ・被顕彰者に関する情報が少ない。せつかく表彰するのだから、活動内容の詳細とか連絡先など差し支えない範囲で示してほしい。
- ・環境保全の考えはSDGsにも通じることをその昔から取り組んできたことに敬意を表する。これからも関心を高く持ってもらえるように継続していくことを願っている。

イ 【指定喫煙所の状況について】

- ・自由が丘駅前については、補助制度の周知を引き続き行い、屋内型指定公衆喫煙所の確保に努めていくのはもちろんだが、既に屋内に喫煙所を整備した近隣店舗の協力が得られていることや、今後、区で屋内型指定公衆喫煙所が設置された際には廃止する方向であることから、現在休止となっている屋外公衆喫煙所に関しては休止ではなく廃止にしても良いのではないかと。休止のままではいつか屋外公衆喫煙所が再開するという期待を持たせてしまうことや、美観面でも懸念が残るため、年度を超えるようであれば、休止の扱いについて再度検討した方が良いと思われる。
- ・都立大学駅前、中目黒駅周辺の灰皿撤去の上、廃止したことに対しては、感謝の言葉を聞いている。マナー違反の喫煙者による喫煙やポイ捨ての取りしまりを強化して、今後も、子どもにも優しいクリーンな目黒となるようにお願いしたい。
- ・屋外型指定公衆喫煙所の灰皿を撤去の上、廃止したことは、受動喫煙防止と地域の美化のために大変良い。休止のところも、ぜひ廃止の方向に。
- ・SDGsの観点から今後屋内型指定公衆喫煙所も継続する必要があるが、近隣区が路上喫煙禁止区域に指定されている所には含まれている場合、喫煙を目的とした区内の流入、ポイ捨て、副流煙による被害など真剣に検討していかなければいけない課題だと考える。
- ・喫煙所の屋内化は、環境・美化の面及び健康・危険の面の両方に効果がある。
- ・祐天寺駅前のパチンコ店が補助金を受けて施設を作っているようだが、施設があること、一般開放していることが全く分からない。またお店の利用者でないと入りにくいとの声もある。
- ・ポイ捨て、歩きたばこが散見される。しかしながら、吸う人吸わない人もお互いに歩みより、共存することが重要と考える。喫煙所がわかりづらいケースもあり、周知がもう少しできると良いかもしれない。
- ・屋内型について、パチンコ店以外の推進をお願いしたい。
- ・屋外型指定公衆喫煙所2か所の廃止後の区民の方からの意見で、「旧喫煙所での路上喫煙は大幅に減少したと感じる」は良い結果であるが、局所的な結果となっている可能性は否定できない。喫煙やポイ捨てが地域全体に広がって目立たない、ということが考えられる。「設置→廃止」の繰り返しでは解決にならないため、目黒区だけではなく23区全体で路上喫煙禁止にするようなことを検討すべきではないか。

ウ 【民間の屋内型喫煙施設に係る整備費補助事業について】

- ・まだまだ知らない方が多いため、周知の徹底と屋内型喫煙施設を設置したお店等に対して、SDGs優良店としてお店のPRをする等のメリットをつけて、増やすことを要望する。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、そもそも店舗自体の経営もきびしくなり屋内型喫煙施設に係る整備費補助事業がすすまない恐れもある。新型コロナウイルス感染症や今後も発生するであろう感染症の状況でも一定程度整備がすすむよう様々な角度から周知についても検討していかなければならないと思う。
- ・事業そのものの認知度が無いと感じる。制度そのものや施設のある場所等の周知をしてほしい。
- ・今年度はコロナ禍により民間事業者には整備することはできなかったが、今後も積極的に進めてほしい。願わくば、パチンコ店以外の店舗、事業者に。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で設置事業がなかなか進まないことは致し方ないと思うが、引き続き自由が丘、大岡山は設置するようお願いしたい。公道で喫煙している人への対策として、店内喫煙可能の飲食店等に協力を依頼して、店内で吸ってもらうことはできないか。公設灰皿設置場所として案内することで飲食店等の宣伝、またそこでの飲食を促すことでWIN-WINの関係を築けるのではないか。
- ・民間事業者による公衆喫煙所について、今年度の整備を見送ることは問題ない。しかし、喫煙所のみ利用人数が不明または把握できないのであれば、対象施設としては公共性の高い施設に限るべきと思われる。

エ 【コロナ禍における生活環境の変化などを踏まえ、環境問題の解決に取り組むことへのご意見】

- ・近隣の集積所でも粗大ゴミや家庭ゴミの増加が目立つ。家庭によって差があるのかもしれないが、家にいる時間が長くなった分、断捨離やテイクアウトの食事が増えたことが明らかにわかる。新たな日常生活もだいぶ定着してきたところであるため、エコプラザで行っている不用品情報コーナーをもっと目立つように周知したりすることや、プラゴミ、ペットボトル、雑がみ等の分別の徹底を改めて呼びかけてほしい。
- ・コロナ禍に在宅生活の時間が多くなり、食事での容器のゴミが多く出るようになっている。飲食店に容器を持って行き、食事を詰めてもらうように、日々の生活を考え直すのも良いのではないか。また、そのような工夫をしているお店をSDGs推進のお店として取り上げてはどうか。
- ・在宅勤務の人も増え、家庭でのエネルギー消費が問題となっている。省エネ家電による省エネ効果や電気料金が高くなる電気の使用法、得をしながら省エネが出来るアイデアの発信をするのもいいと思う。
- ・エネルギー消費を例とすれば、民生部門の中において、事務所等の消費量は減少しても、住宅では増大する可能性が大きい。全体を見ながら検討する姿勢が重要となる。
- ・審議会のあり方について、書面で意見を求めることも一つの方法だとは思いますが、やはり審議会は集まって開催することが望ましいと思う。(他の方の意見をきくことによって、気づきを得て、新たに意見が出てくることも考えられるため。) 実際に召集することが難しいのはやむをえないと思うが、オンライン会議を行うことも可能なのではないかと思った。
- ・今回のコロナ禍で大気汚染が劇的に改善された等の報告がある。日ごろの活動を少し控えるだけで効果があるようだから、このことを踏まえて今後の対策を考え、呼びかけができるといい。
- ・コロナ禍は、地球規模の気候変動などとともに私たちが自然の脅威を認識する機会となり、環境共生社会の実現への機運が一層高まってきていると思う。目黒区において、環境学習や区民活動の支援などの施策を積極的に推進し、一人ひとりの区民への発信を地道に継続してほしいと思う。
- ・コロナ禍で苗木の配布が中止になっている。公園の環境整備のためにも苗木の配布は推進してほしいとの意見がある。

オ 【その他意見】

- ・資料5、オ「住宅用新エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について」への意見。今後の脱炭素社会を実現していくためには新エネ・省エネ設備への補助が一層、重要になるため、助成事業については継続してほしい

と思う。また、昨今の自然災害（地震・風水害など）時に、停電するケースも考えられることから、蓄電池や停電対応機能を備えた家庭用燃料電池等の最新情報についても区民に対して発信するようお願いしたい。

以 上